

中間検査チェックシート

確認番号	建築主
工事名称	工事監理者氏名

令和 年 月 日

【敷地関係】 (※ 該当する項目について記入してください。)

項目	確認日	必要な確認方法	結果	備考	検査者欄
確認の表示		A			
接道状況		A B			
敷地(道路)境界		A B			
敷地の高低差		A B			
すみ切り		A B			
擁壁設置の許認可の有無		C			
敷地境界線と外壁との距離		A B			
建物の高さ(斜線制限)		A B			

〈記入上の注意〉

- 確認日欄には、項目を確認した月日を記入すること。
- 必要な確認方法の欄は、目視確認(A)、計測確認(B)、施工報告書等の確認(C)を示している。
- 結果欄には、適合していれば「○」、不適合の場合は「×」を記入すること。
- 検査者欄は記入しないこと。

様式B-1

木造

(軸組工法、桝組壁工法)

項目	確認事項	確認日	必要な確認方法	結果	備考	検査者欄
1全体	a)柱、はり、壁、床の位置の確認		A			
	b)木材の品質(節・腐れ)の確認		A			
2基礎・地盤	a)種類(布、ベタ等)の確認		A C			
	b)形状・寸法の確認		A B C			
	c)床下換気口(又はこれに代わるもの)の確認		A B C			
	d)基礎のひび割れの確認(地盤の不同沈下)		A			
3土台	a)形状・寸法の確認		A B C			
	b)材質の確認		A C			
	c)接合部の確認		A C			
4火打ち材	a)形状・寸法の確認		A B C			
	b)材質の確認		A C			
	c)隅角部設置の確認		A C			
5アンカーボルト	a)形状・寸法の確認		A B C			
	b)材質の確認		A C			
	c)アンカーボルト配置・緊結の確認		A B C			
6柱	a)形状・寸法の確認		A B C			
	b)材質の確認		A C			
	c)欠込み部の補強の確認		A C			
	d)接合部の確認		A C			

様式B-2

項目	確認事項	確認日	必要な確認方法	結果	備考	検査者欄
7横架材	a)形状・寸法の確認		A B C			
	b)材質の確認		A C			
	c)接合部の確認		A C			
	d)構造耐力上支障のある欠込みの確認		A C			
8耐力壁 (筋かい)	a)形状・寸法の確認		A B C			
	b)材質の確認		A C			
	c)欠込み部の補強確認		A C			
	d)接合部の確認		A C			
	e)耐力壁配置の確認		A C			
	f)ホールダウンの位置、耐力及び施工状況		A C			
9床組	a)形状・寸法の確認		A B C			
	b)材質の確認		A C			
	c)床板又は床下地の確認		A C			
	d)床高さ(又は床下防湿)の確認		A B C			
	e)防腐措置の確認		A C			
	f)防蟻措置の確認		A C			
10小屋組	a)形状・寸法の確認		A B C			
	b)材質の確認		A C			
	c)必要な振止めの設置状況の確認		A C			
	d)たるき接合部の確認		A C			
11不具合の処置方法						

様式C-1

鉄骨造

項目	確認事項	確認日	必要な確認方法	結果	備考	検査者欄
基礎工事	支持地盤の位置、種類地耐力等の確認		A C			
	基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、偏心等の確認		A B C			
	ベース寸法、主筋の径本数、位置、偏心による補強等の確認		A B C			
	地中ばりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手(位置、長さ)、あばら筋、径、間隔、形状、偏心による補強等の確認		A B C			
1 加工工場の選定	建築物の規模等の条件に見合った類別であること		C			
2 材料の品質確認	鋼材、高力ボルトセット、溶接材料の規格・品質等の確認		C			
3 組立精度の確認	開先角度、ルート面、ルートギャップ、くい違い等の精度		A B C			
4 製品検査1 (部材の寸法精度測定)	部材の寸法精度		A B C			
5 高力ボルト接合部の処理	高力ボルト接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔、ピッチ等		A B C			
6 製品検査2 (溶接接合部の品質)	外観検査及び超音波探傷検査結果		A C			
7 全体	表示板による加工工場の類別グレード確認		A C			
	柱、はり、ブレース、床板等の配置(確認添付図書との照合)		A C			
	柱、はり、ブレース、床板等の寸法・形状(確認添付図書との照合)		A B C			
	架構の建方精度		A B C			
8 溶接接合部 工場溶接部分の 外観・形状	溶接継目の種類(突合せ溶接・隅肉溶接)		A B C			
	溶接継目のくい違い		A B C			
	アンダーカット、へこみ等の断面欠損		A B C			
	割れ		A B C			
	その他の溶接部の外観・形状		A B C			
9 溶接接合部 現場溶接部分の 組立精度の 確認	開先角度、ルート面、ルートギャップ、くい違い等の精度		A B C			

様式C-2

項目	確認事項	確認日	必要な確認方法	結果	備考	検査者欄
10 溶接接合部 現場溶接部分 の製品検査	外観検査及び超音波探傷検査結果		A C			
11 溶接接合部 現場溶接部分 の外観・形状	現場溶接部の部位		A C			
	溶接継目の種類(突合せ溶接・隅肉溶接)		A B C			
	溶接継目のくい違い		A B C			
	アンダーカット等の断面欠損		A B C			
	割れ		A B C			
	その他の溶接部の外観・形状		A B C			
12 ボルト接合部 トルシア形ボルト	現場受入検査(トルク係数値確認・導入張力確認試験)		A C			
	ボルトの径、本数、スプライス数、ピッチ・縁あき		A C			
	締付状態の確認(肌すき・ピンテール破断・マーキングの状態)		A C			
13 ボルト接合部 JIS形六角ボルト	締付機器の調整、現場受入検査(導入張力確認試験)		A C			
	ボルトの径、本数、スプライス数、ピッチ・縁あき		A B C			
	締付状態の確認(肌すきの有無・マーキングの状態)		A C			
14 プレス接合部	プレス接合部の形状・板厚材質・補剛材等		A B C			
15 柱脚接合部	柱脚接合工法の確認(認定工法)		A C			
	アンカーボルトの保持・埋込方法、ベースプレートの材質・形状・板厚		A B C			
	アンカーボルトの材質・径・本数及び配置とナットの高さ		A B C			
	アンカーボルトの締付状態		A C			
	スタットボルトの径・本数・配置		A B C			
16 床スラブ接合部	床構造の形式(合成スラブ・)		A C			
	シャコネクター(頭付スタット)の施工状況・検査結果		A C			
17 帳壁等の接合部	緊結金物の取付状況		A C			
18 不具合の処理、検査結果及び工事全般の考察						

様式D-1

鉄筋コンクリート造

項目	確認事項	確認日	必要な確認方法	結果	備考	検査者欄
1 全体	a) 柱、はり、壁、スラブの位置の確認		A B			
	b) かぶり厚さの確保					
	c) 鉄筋の材質の確認		A B C			
2 基礎・地盤	a) 支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認		A B			
	b) 基礎の種類、くいの工法、長さ、径、位置、偏心等の確認		A B C			
	c) ベース寸法、主筋の径本数、位置、偏心による補強等の確認		A B C			
	d) 地中ばりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手(位置、長さ)、あばら筋、径、間隔、形状、偏心による補強等の確認		A B C			
3 柱	一般階主筋	a) 柱径寸法、主筋の径、本数、配置(方向)、偏心による補強等の確認		A B C		
	最上階主筋	b) 2段筋の位置(間隔)の確認		A B C		
		c) 柱頭鉄筋の止まり高さ、主筋の出隅のフックの確認 最上階の主筋のはりに対する定着確認		A B C		
	最下階主筋	d) 最下階の主筋の基礎に対する定着確認		A B C		
	定着・継手	e) 主筋の継手位置の確認		A B C		
		f) ふかしの大きさによる配筋補強確認		A B C		
	帯筋	g) 鉄筋径、間隔、本数及び形状の確認		A B C		
		h) 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強の確認		A B		
		i) 仕口部分の帯筋の配置確認		A B C		
		j) 第一帯筋と柱頭拘束帯筋の位置確認		A B		
		k) 帯筋のフック形状、あそび及び結束の確認		A B C		

様式D-2

項目	確認事項	確認日	必要な確認方法	結果	備考	検査者欄	
4 はり はり主筋 定着・継手 ふかし、貫通 孔補強 あばら筋 片持ばり 小ばり	a) はり断面寸法・はり主筋の径、本数及び位置の確認		A B C				
	b) 中吊り筋の間隔の確保、長さの確認		A B C				
	c) はり筋の定着長さ、位置確認		A B C				
	d) 重ね継手の位置と長さ確認		A B C				
	e) はり筋出隅部の末端フック確認		A B C				
	f) ふかしの補強方法が適切か、貫通孔補強筋の確認		A B C				
	g) あばら筋の径、本数(副あばら筋共)とピッチの確認		A B C				
	h) あばら筋のフック形状、あそび及び結束の確認		A B C				
	i) 片持ばり主筋の定着、あばら筋位置確認		A B C				
	j) 小ばり配筋の位置と定着確認		A B C				
	5 スラブ スラブ筋 定着・重ね継手 補強筋等	a) スラブ厚寸法、鉄筋のピッチと径の確認		A B C			
		b) 主筋配置(短辺・長辺とベント配筋)と支持条件の確認		A B			
c) 定着の長さ与方法(はり定着、隣接スラブ定着、段差スラブ定着)			A B C				
d) 片持スラブの定着と上端筋位置確保(先端壁有無)			A B C				
e) 継手の位置と長さ			A B C				
f) 床スラブの出入隅部の補強			A B C				
g) 開口部補強配筋確認			A B C				
h) 階段部配筋と補強筋確認			A B C				
i) 設備配管による補強は考慮されているか			A B				

様式D-3

項目	確認事項	確認日	必要な確認方法	結果	備考	検査者欄	
6 壁 壁筋	a)壁厚寸法、鉄筋のピッチと径の位置(土圧壁主筋・階段受け筋)の確認		A B C				
	定着・重ね継手		A B C				
	補強筋等	c)重ね継手の位置と長さの確認		A B C			
		d)開口補強配筋確認		A B C			
		e)スリット(完全・部分)の位置、形状及び配筋確認		A B C			
7 その他 設備配管等 ガス圧継手 特殊鉄筋継手 型枠並びに既存打設部分 状況確認	a)設備配線管(CD管等)の配置確認		A C				
	b)形状		A B				
	c)強度確認		C				
	d)認定・評定工法の確認		A B C				
	e)型枠及び支柱の締付け、清掃状況確認		A C				
	f)ジャンカ処理、型枠材等木片撤去補修確認		A C				
	g)基礎、柱、はり、床板、壁く体寸法の確認		B C				
	h)型枠支柱存置期間の確認		A C				
	i)コンクリート打設後の養生		A C				
	j)コンクリートの調合及び圧縮強度の確認		A C				
8 不具合の処置及び検査結果の考察							